

JAXA 宇宙教育センター×（公）日本宇宙少年団×東明館 共催

「宇宙教育指導者セミナー（基山）」が東明館から実施されました。



1月30日（土）と31日（日）の両日にわたって、JAXA 宇宙教育センターと公益財団法人日本宇宙少年団及び東明館の共催で「宇宙教育指導者セミナー」を東明館から実施しました。30日（土）は全国の小中学生、高校生を中心とした子供たち向け、31日（日）は同じく全国の学校教育関係者及び社会教育関係者向けの講座をオンラインで実施しました。

JAXA 宇宙教育センター及び日本宇宙少年団からは活動委員の白井先生、九州大学名誉教授の麻生先生、JAXA から大木先生、そして東明館から山下先生が講義を行いました。定員を大きく超える方々の申し込みがありご参加いただけない方もおられましたが、全国から多くの方々に参加していただきオンラインセミナーを無事に終了することができました。

学校教育だけでなく、社会教育の中でも宇宙教育を展開する中でどのような事項を考慮して実施するか視点での講座に始まり、航空宇宙工学的な視座から ISS に焦点をあてて、宇宙船としての ISS の特徴、その組立の経緯を振り返りながら ISS に滞在した日本人宇宙飛行士の感想、ISS を運用するための輸送システムについても考察しました。

教育的な視点から、人工衛星の軌道の調べ方を確かめました。「だいち2号」「ISS」の軌道を例にとって講義がありました。天文学的な視座からも宇宙教育の天文関係題材としての人工衛星・ISS の教材性を学びました。

最後に野口宇宙飛行士が ISS に滞在している今、宇宙に関する多くの報道がありますがその中で英語に関わっている場面が多いことに気づくことがあります。グローバル化の中で、2020 年から小学校教育では英語が必須になり現在に至っています。宇宙教育の場面で、コミュニケーションの手段としての英語を自然と取り入れて活動に取り入れていく可能性を探る講義でした。

30日（土）には「ISS の野口宇宙飛行士の活動を英語で調べる…」と題して全国の子供たち向けに講座を行いました。小学生から高校生以上の方々まで、幅広い年代の皆さんに参加していただき、宇宙航空

の興味関心を高めていく活動を「英語を通じて行う」取り組みでした。本校で実施していただきました関係の皆様、参加していただきました全国の皆様に心よりお礼申し上げます。ありがとうございました。

